最新の診療時間は
ホームページを
ご覧ください

施設概要

敷地　1,419㎡、24台無料駐車場

建物　延床面積990㎡
院内ネットワークシステム（電子カルテ）

1階　CPAPセンター
認知行動療法室（CBTルーム）
睡眠調整室（SRルーム）
鼻腔通気度計、呼吸機能、脈波伝播速度計、
心電計、血液ガス分析装置
レントゲン装置（胸部単純、セファログラム）

2階　中央管理室（終夜モニター、解析室55㎡）
入院検査室 •PSG対応 ……16部屋
•MSLT・MWT対応 … 9部屋
•小児検査対応 …… 2部屋

高照度光
治療室

交通のご案内

ふれあい福寿会館 東南

- JR岐阜駅・名鉄岐阜駅より「岐阜バス」20分
- JR西岐阜駅よりタクシー10分または、徒歩25分
- 岐阜羽島駅・岐阜羽島ICより車20分

〒500-8384 岐阜市薮田南4丁目15-20
TEL（058）272-9300（グッスリ）
ホームページ http://suiminmukokyu.jp

詳しくは 岐阜メイツ 検索

Sleep Center
GMSC since 2008

医療法人社団　三遠メディメイツ

岐阜メイツ睡眠クリニック

睡眠時無呼吸症候群をはじめとする
あらゆる睡眠障害の診断と治療を行う
岐阜地区初の
日本睡眠学会認定医療施設（A型）です。

GIFU MATES SLEEP CLINIC

（ver.5.4）

あなたの眠りは大丈夫ですか。

睡眠は"こころ"と"からだ"に影響します。健康の維持・回復には、質のよい眠りを十分にとる必要があります。当施設では、総合睡眠医療クリニックとして、あらゆる睡眠覚醒関連疾患の検査、治療に取り組んでいます。眠り・目覚め・睡気でお困りの方、ご相談ください。

業務内容
睡眠をキーワードに

①睡眠覚醒関連疾患診療
睡眠関連呼吸障害（睡眠時無呼吸症候群）
不眠症
過眠症（ナルコレプシー・特発性過眠症）
概日リズム睡眠障害
睡眠時随伴症（レム睡眠行動障害、覚醒障害）
睡眠関連運動障害（レストレスレッグス・むずむず脚症候群）
②企業・団体・地域での睡眠相談や検診
③睡眠医学研究
④睡眠医療検査治療機器研究開発、治療薬開発治験
⑤一般内科・呼吸器疾患診療
⑥特定健診・すこやか健診
⑦禁煙治療

睡眠時無呼吸症候群SAS

- 睡眠中に呼吸が止まり（弱まり）、イビキが特徴です。
- 夜間と昼間の様々な症状がでます。
- 重症の場合には、重大な合併症をおこします。

肥満、老化現象、顎顔面骨格異常、口呼吸
扁桃肥大、内分泌異常（甲状腺機能低下）

睡眠障害
夜間の窒息感
不眠、頻尿

呼吸障害
間欠的低酸素
高炭酸ガス血症

朝の頭痛、口渇
昼間の眠気、居眠り
倦怠感、うつ状態
記憶力・集中力低下
作業ミス・生産性低下
労働災害・交通事故

生活習慣病
メタボリック症候群
高血圧
糖尿病
心臓病
脳血管障害
突然死・認知症？

イビキ、無呼吸は自分では、気づきません。

イビキが目立たない方もあります。

中年肥満男性に多いのですが、やせている方、女性、小児でも起こります。

眠気が倦怠感、疲れやすさ、と感じて、"年のせい"、"うつ状態""更年期障害"と間違えます。

原因不明の高血圧の場合は、SASを疑いましょう。

SASの治療で、肥満、高血圧、糖尿病、不整脈が改善します。

初診から診断まで

予約 電話予約後、初診外来

- 30分のアンケート・問診

自宅 簡易検査器機による測定

- 腕時計型機器で、睡眠中の酸素、脈拍を検査

入院 終夜睡眠ポリグラフ検査（PSG）

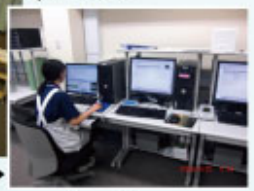
- 睡眠の質や身体状況を同時に測定する検査
- 痛みなどはありません
- 防音・空調完備個室（ホテル仕様）

スケジュール（1泊2日）

当日　19～22時、食事後来院
1時間後に検査開始

夜間　専門検査スタッフがモニターします
安心してお休みください

◀個室での様子



終夜モニター▶

退院 翌朝　検査終了（シャワー利用可能）
そのまま職場、学校へ

再診 診断と治療方針の説明

治療法

1 CPAP（シーパップ：経鼻的持続陽圧呼吸療法）
鼻マスクから空気を送り、気道の閉塞を防止します。
この治療の場合には、別日に再入院検査が必要です。

2 口腔内装置（マウスピース）
軽症の場合に、提携専門歯科施設をご紹介します。

3 手術療法
過剰な軟口蓋や扁桃肥大がある場合。

4 生活習慣の改善
肥満の方は食事・運動療法などをご指導します。

5 睡眠習慣指導
睡眠指導士が適切な睡眠法を説明します。

特殊睡眠検査と治療

1 反復睡眠潜時検査（MSLT）
日中の眠気を客観的に調べる検査です。
過眠症（ナルコレプシーなど）の診断に重要です。

2 覚醒維持検査（MWT）
どれくらい覚醒能力があるか調べます。
薬剤効果や運転能力の判定に用います。

3 下肢指示不動検査（SIT）
レストレスレッグス・むずむず脚症候群の診断に有用です。

4 高照度光治療（BLT）
2方向から10,000ルクス照度光を照射します。
体内時計を調整します。

5 認知行動療法（CBT）
不眠症（CBT-I）、概日リズム障害（CBT-R）
セルフモニター・ケアの観点から対応します。

保護者の方へ

小児SASは早期診断・治療を!!

～「様子を見る」、「経過を見る」は
正しくない場合があります。～

お子様は睡眠中のイビキ、無呼吸、苦しそうな呼吸はありませんか？

成長期（4歳～6歳）に扁桃肥大（図A）やアデノイドの増殖（図B）が起こり、気道が狭くなることにより無呼吸の原因となります。従来はこの状態を「様子を見る」、「経過を見る」で過ごしていました。しかし、この時期の無呼吸を放置すると、睡眠中の成長ホルモンの分泌不足から成長・発育に重大な影響を及ぼします。（2002年の米国小児科学会の勧告）

小児SASの特徴

- 多くは2～4歳ころからイビキ・無呼吸などが始まります。
- 8歳頃からイビキが軽くなる傾向にありますが、診療の時期を逸している可能性があります。

夜の症状	イビキ、苦しそうな呼吸、咳き込み、寝相が悪い、おねしょなど
昼の症状	食べるのが遅い、口をあけた表情、落ち着きの無さなど
成長に対する影響	低身長や胸のへこみなど
就学すると	学力低下が目立つ、授業中の居眠り、集中力の無さ

診断方法

終夜睡眠ポリグラフ検査の情報が有用です。